

シネマズライフ

2017年9月22日発行 第131号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

たかぎ りおん
貴樹 諒音

【最近のこれはお見事!】

『散歩する侵略者』『散歩』と『侵略者』の関係なさそうな言葉を並べ、『謎』の展開に発展。

絶妙なミステリーな題名かと。

【最近のこれはまずいぞ!】

『青木楠雄のY難』フツーにYは読めない。

映画の風景 日本の風景

※ 兵庫県 姫路城 ※



← 姫路城

『ルパン三世 カリオストロの城』という映画があつた。こんな映画だ。

ある夜のモナコの国宮カジノ。怪盗ルパン三世とその仲間が大盗から大金を盗み出した。大量のお札を車に詰め込み上機嫌で逃げるが途中でルパンはある事に気づく。『モナコの国宮カジノ』であるにも関わらずそのお札は偽札! それも本物と交わらないと言われている。『ゴト札』だ。そこで、ルパン達は「ゴト札」の発源地と言われているカリオストロ公国に乗り込む事を決める。カリオストロ公国に潜入しそこは緑豊かな美しい国だ。突然ルパンの目の前で美少女が走り去る。ルパンは怪しげな車に追いつき、それを追いつく。ルパンはとある車に助けを求め、二台の車を追いつける。なんの結末も見失ってしまう。実はオスロ公国、若い頃カリオストロ公国に忍び込みた少女に助けを求められていたのだ。少女の名前はクラリス。カリオストロ公国の大公と結婚間近だった。

漫画原作のアニメ化で今ではCGで描くところを、70年代にフルアニメで映像化。アクションの新斬とセリフのセンスのよさは今でも素晴らしい。姫路城は、その美しい行(たす)まいから『白鷺城(しらさぎじょう)』とも言われており、そのセンスのよさは世界に自慢できる城でもある。もし、よかつたらルパンの次の活躍場所はこの城ではどうだろうか。

『ルパン三世 カリオストロの城』1979年 日本 監督 脚本:宮崎駿 脚本:山崎晴哉 原作:モンキー・パンチ 音楽:大野雄二 出演:山田康雄 堀山江威子 小林清志 井上真樹夫 納谷徳朗 島本須美 石田太郎 宮内幸平 永井一郎

記念すべき宮崎監督のデビュー作。独特なスピード感。美少女が重要な登場人物など、以後数作の基本を作ったともいえる。



↑ 月見うどん

今年も、もう9月。ロケットがボンボンと日本を飛び越え「花火じゃないんだから!」と文句を言いた人は聞いてもくれず、台風が日本を横断したり、来るぞ来るぞと言いつつ海外に被害を残す大地震。日本での中秋の名月は、台風騒ぎで楽しめた所はほとんどなかった。やはり天気も、暗い日本の世情をみて国民の



↑ お月見セット



気分を付度してしまったのだろうか。自然現象はしかたないとして、国際関係では『言わなきゃいいのに』という言葉が飛びかう鬱陶しい日々。ここは一つ、世界中で月見でもして落ち着きついでみたらいかか?と思うのだが、もう間に合わないのだろうか?

★【最近のこれはお見事!】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ!】は「これは、まずいぞ!」と思う題名を紹介しています。

